

大会スケジュール

12月5日(土)	第1日	12月6日(日)	第2日
受付	11:00～	受付	9:00～
運営委員会	11:00-12:00	研究発表 2	9:30-10:00
研究発表 1	13:00-14:05	研究発表 3	10:20-12:00
教育講演	14:15-15:15		[学会終了]
シンポジウム	15:30-17:00		
総会	17:10-18:00		
懇親会	18:30-21:00		

大会参加者へのご案内

◆ 参加申し込み

参加をご予定で、まだ参加費を納めていない方は、お早めにご納付ください。

参加費 — 一般会員/臨時会員 6,000 円 学生会員 3,000 円

懇親会は、発表会場の地下にある和室を使用して行います。参加費は 5,000 円です。当日も参加申し込みができますから、どうぞおいでください。

◆ 受付

大会会期中は、参加章をつけていただきます。受付でお受け取りの上、氏名と所属をご記入願います。

◆ 発表論文集

この発表論文集は、受付でも販売いたします。1部3,000円です。

◆ 研究発表

・発表はすべて口頭発表の形式で行います。1発表あたり30分です（発表時間は20分、質疑応答は10分が目安です）。

・各発表には座長がつきます。座長はコメンテーターも兼ねます。

・筆頭発表者になるのは、大開期間中1回に限ります。ただし、連名発表の場合は、この限りではありません。

・発表では、液晶プロジェクタとパソコン（WindowsXP、MacOS10.3.9つまりオフィス2003対応機）が使用できます。パソコンご持参の方は、プロジェクタにつないでご使用できます。

・発表資料を配布するご予定の方は、受付にお渡しください。資料は40部をご用意願います。なお、川越キャンパスは当日ほぼ全棟が停電のため、当日は会場でのコピーはできませんので、ご了承願います。

◆ 教育講演

教育講演が第1日目にあります。この講演だけの参加も可能です。その際には、講演会の参加費として、2,000円を受付にお支払いください。

講演に引き続いて、講演内容に関するシンポジウムが開催されます。

◆ 運営委員会

第1日目に、運営委員会が11:00から開催されます。会場は発表会場の隣室です。

◆ 総会

第1日目、17:10から、発表会場で総会が開催されます。

◆ 事前のお問い合わせ

下記宛にご連絡願います。

〒350-8585 川越市鯨井2100 東洋大学総合情報学部 石原研究室内

日本イメージ心理学会（JIA）第10回大会準備委員会事務局

TEL 049-239-1364（直通）

Mail: ishihara@toyonet.toyo.ac.jp

神との結びつきという妄想
- サルペトリエールの臨床記録から

講演者：東洋大学ライフデザイン学部 菊地章太氏

パリのサルペトリエール精神病院にマドレーヌ・ルブックと名のる女性が1851年から入院していた。彼女の臨床記録には、恍惚状態のさなかに体に聖痕が現れ、文字が浮きあがる事実が報告されている。診療にたずさわったのは、当時のフランス精神医学界を代表するピエール・ジャネであった。神との結びつきという妄想の症状が精神疾患の一連の過程のなかに位置づけられ、病理現象として捉えられていく。フロイトは恍惚や憑依を文化にかたどられたヒステリーと考えたが、彼の同時代人であるジャネはこれを文化にかたどられた解離とした。現在の精神医学では後者の説が認められており、解離性トランス障害という診断カテゴリーに受けつがれている。ここではジャネの記録とマドレーヌ自身の証言をたどりながら、宗教現象に関する精神病理学からのアプローチの可能性と疑問点について考えてみたい。

【講演者のプロフィール】

菊地章太(きくち・のりたか)1959年横浜市生まれ。
筑波大学卒。フランス・トゥールーズ神学大学高等研究院留学。
現在、東洋大学教授。博士(文学)。専攻、比較宗教史。
著書、『悪魔という救い』朝日新聞社、『儒教・仏教・道教 - 東アジアの思想空間』講談社、他。
趣味、いろいろな楽器の演奏(すべてへたくそ、だそうです)。

シンポジウム

悪魔憑き、ヒステリー、離人、自己イメージ

指定討論者

菊地 章太(東洋大学)
田辺 肇(静岡大学)
岡田 斉(文教大学)

司会

石原 次郎(東洋大学)

悪魔憑きにまつわる精神医学と宗教との興味深い共謀と競合、接近と離反、その歴史のドキュメントから、ヒステリー、解離、離人といった、自己イメージの形成に関する尽きせぬ深い泉がそこにはある。イメージをキーワードにして、自己の形成、その失敗、あるいは特異と思われるような自己イメージの身体化(聖痕)などに関する議論を深める。

研究発表

12月5日(土)

研究発表 1 13:00-14:05

座長：山形大学 畠山 孝男

1 視覚オブジェクトの保持とイメージ操作に関わる処理は競合するのか？

—視覚的ワーキングメモリ容量の測定課題を用いた検討—

北海道大学大学院文学研究科 森本 琢

2 結果イメージが運動の計画過程に及ぼす影響

—ダーツの飛び方のイメージを研究対象として—

北海道大学大学院文学研究科 ○今井 史

北海道大学大学院文学研究科 菱谷 晋介

12月6日(日)

研究発表 2 9:30-10:00

座長：山形大学 畠山 孝男

1 イメージ鮮明度を規定するメカニズムの脳内機序

—感情価による鮮明度変化を中心に—

北海道大学大学院文学研究科 ○本山 宏希

北海道大学大学院文学研究科 菱谷 晋介

研究発表 3 10:20-12:00

座長：文教大学 岡田 斉

1 色によるアパシー症候群の内的世界の把握の試み

東洋大学総合情報学部 ○加藤千恵子

東洋大学総合情報学部 石村光資郎

多摩美術大学大学院美術研究科 伊集院 一

神奈川県立保健福祉大学 田中 暢子

2 イメージの体験様式及び視覚心像統御性の能力がイメージの諸側面に与える影響

立正大学大学院心理学研究科 ○工藤 雅人

立正大学心理学部 田村 英恵

3 現実感のある心像表象体験

静岡大学大学院人文社会科学研究科 ○川内 奈緒

静岡大学大学院人文社会科学研究科 田辺 肇

日本イメージ心理学会第10回大会準備委員会

委員長 石原 次郎
委員 石村光資郎
加藤千恵子

〒350-8585 川越市鯨井 2100
東洋大学総合情報学部 石原研究室内
日本イメージ心理学会 (JIA) 第10回大会準備委員会事務局
TEL 049-239-1364 (直通)
Mail: ishihara@toyonet.toyo.ac.jp